

コープふくしま 大震災対策ニュース ガンバッペ編 その1

2011年3月24日発行

コープふくしま東北関東大震災本部
にて取材中のライター秋山作成

3月21日よりコープふくしま東北関東大震災本部にて、取材活動させていただいているライターの秋山と申します。日生協『CO-OP navi』への原稿執筆のご依頼を出版部よりいただき、福島にまいりました。

極めて個人的な視点ではありますが、変化する状況に“あうん”の呼吸で対応する対策本部の皆様の奮闘をお伝えできればと、キーボードを叩かせていただきます。

■対策本部で



対策会議が朝9時と15時に開催。
「それは今本当に必要か！」。
侃々諤々の議論が闘わされることも。緊張感が漂いますが、元気や前向きさを保とうという意思を、各参加者が共有。難題に対しても建設的な話し合いが続けられています。

■店舗で その1



21日に店内営業を再開した、コープマートいづみ店で入店を待つ方々（入店者数を規制中）。23日頃より市内では営業を再開する店舗が増えてきましたが、21日時点では業種を問わず営業しているはかなり少なく、喜んでいただけていたのではないでしょうか。

■店舗で その 2



21日は県内11店舗を回らせていただきました。ある店長さんは、復旧しないレジに「まだ紙の出る大きな計算機なんです……」と苦笑しながらも、「まあ、僕らが商売始めた頃はこれが普通でしたから。当時を思い出しますよ」と前向きな言葉。写真は店頭販売に備え、商品に値段を書き込むスタッフさん。

■店舗で その 3



22日、コープマート瀬上店では翌日の店内営業再開に向け、天井の補修工事を実施。工事と同時に店頭販売の準備も行っており、朝の店内は、てんやわんやでした（そんな時に写真を撮りに行きすみません）。無事、23日に店内営業に漕ぎ着けたそうです。

【速報】

3月23日夜、さいたま生協より
4名の方々が到着されま
(明日コメント頂戴いたします)

